

大学等名	流通経済大学（流通情報学部）	申請レベル	応用基礎レベル(学部単位)
教育プログラム名	流通情報学部 数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム	申請年度	令和7年度

## 取組概要

### ● プログラムの目的

本教育プログラムは、現在の高度情報化社会を特徴づける学問体系である「数理・データサイエンス・AI」に関してすでにリテラシーレベルで修得した**知識を深化させる**と共に、それらの**知識を身に付ける**ための実践的な学びを行うことを目的とする

### ● 科目の構成

上記目的の実現のため、本教育プログラムは以下の授業科目から構成

#### 1. 必須科目(計10単位)

- 情報学概論Ⅰ
- 応用プログラミングⅠ
- 応用プログラミングⅡ(AI実践科目)
- データサイエンスのための統計学  
(数理実践科目)
- 先端情報科学論(AI習得科目)

#### 2. 選択必須科目(計14単位)

- 情報学概論Ⅱ
- データサイエンスのための統計学Ⅱ  
(数理実践科目)

#### 数学Ⅰ(数理実践科目)

#### 数学Ⅱ(数理実践科目)

#### 先端情報技術論(AI習得科目)

#### データサイエンス演習

#### (データサイエンス実践科目)

#### アルゴリズム論

#### 3. 選択科目(計10単位)

#### 情報化社会における職業と倫理

#### データベース論

#### マルチメディア・コンテンツ

#### 通信・ネットワーク概論

#### 情報応用システム論

### ● 修了要件

本教育プログラムを構成する**必須科目10単位**と**選択必須科目6単位**の**計16単位**を取得すること

### ● 身に付けられる能力

本教育プログラムの学修成果として、次の能力を身に付けることができる：

- (1)データサイエンス・AI技術を実践の場で活用する上で必要な情報学の能力；
- (2)データサイエンス・AI技術を実践の場で活用する上で必要な数学の能力；
- (3)データサイエンス・AI技術を実践の場で活用する上で必要なプログラミングの能力；
- (4)目的に応じてデータを収集・加工し、分析を行う能力；
- (5)(4)の下、機械学習や深層学習などのAI技術を活用する能力；
- (6)目的を実現するために生成AIを適切に活用する能力。

- 授業アンケート
- 教員アンケート

- 卒業生アンケート
- 企業等外部評価

### 流通経済大学情報・データサイエンス教育推進委員会

➤ 総合情報センター・教育学習支援センター・就職キャリア支援センター・FD・SD委員会

・改善・更新

円滑なPDCAサイクルの実現